

平成 30 年 7 月 2 日

一般社団法人 日本保険薬局協会

会長 南野 利久 様

城西国際大学薬学部
教授 山村重雄

アンケート調査協力をお願い

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り誠にありがとうございます。

さて、このたび、日本の薬剤師の継続的職能開発（Continuing Professional Development）を支援するため、国際薬剤師・薬学連合（FIP）により開発された国際コンピテンシー・フレームワークの日本薬剤師に対する妥当性評価調査を行っております。

コンピテンシーとは、知識、技能、態度に基づいた行動を表現する言葉として、職能教育の中では広く使われ出しております。

この調査は基礎レベルの薬剤師を対象にしております。

「基礎レベルの薬剤師」とは、日本で実務経験 5 年未満である薬剤師（働いている領域を問いません。薬剤師の資格を使用する業務に就いていない者も含みます）、もしくは薬剤師の実務領域に復帰、または別な領域から現在の実務領域に変更してから 5 年未満の薬剤師を指しております。

つきましては、より広く意見を集約するために、貴協会に所属する薬局で働いている若手薬剤師に協力をいただきたく、思っております。

本アンケートの趣旨にご賛同いただき、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

アンケートは WEB 経由で行われ、

https://uclpharmacy.eu.qualtrics.com/jfe/form/SV_cviVvMpPg2eRH5H

にアクセスするか、添付の書類から該当するリンクをクリックしていただくこととなります。締め切りは 7 月末日となります。

最後になりますが、貴協会のますますのご発展を祈念しております。

敬具